

令和6年度 第2回施設長会 会議資料

(川崎市社会福祉協議会 施設部会 老人福祉施設協議会)

— 議 題 —

- 1 各種委員の推薦について …資料 1

- 2 各プロジェクト委員会の進捗状況等について … 資料 2
 - (1) 災害プロジェクト委員会について
 - (2) 人材プロジェクト委員会について

- 3 施設長会情報交換テーマについて … 資料 3

- 4 民間社会福祉施設従事者福利厚生費助成事業について … 資料 4

- 5 施設部会より … 資料 5
 - (1) 運営推進会議の設置について
 - (2) ふくしの出張講座について
 - (3) 施設部会ホームページについて
 - (4) 川崎市社協会員について

- 6 神奈川県社会福祉協議会施設部会老人福祉施設協議会より …資料 6
 - (1) 委員会（5/21）について
 - (2) 第 22 回かながわ高齢者福祉研究大会実行委員の選出について
 - (3) 第 43 回全国社会福祉法人経営者大会（8/29・30）について

- 7 その他
 - ・川崎市総合研修センター … 資料 7

各種委員の推薦について

1 総合研修センター研修アドバイザーについて ※新規

(1) 人数：2名

(2) 任期：令和6年度（1ヵ年）

(敬称略)

新	旧
和田 泰明 (老人／桜寿園)	
国貞 敦士 (障害／こぶし園)	

2 福祉基金運営委員会委員について

(1) 人数：1名

(2) 任期：令和6・7年度（2ヵ年）

(敬称略)

新	旧
清水 完敏 (老人／夢見ヶ崎)	岡部 健 (障害／桜の風)

※参考

令和4・5年度：障害者福祉施設協議会 岡部会長
 ～令和2・3年度：保育協議会 奥村会長

各プロジェクト委員会の進捗状況について

1 災害プロジェクト委員会・防災班長会議

◇第1回災害プロジェクト委員会・防災班長会議／5月27日（月）10時～11時

≪協議概要≫

① 令和6年度川崎市総合防災訓練への御協力について

【実施概要】

日 時：令和6年9月1日（日）9時～12時

訓練会場：麻生水处理センター（警察・消防・自衛隊等による救出救助訓練）

市立柿生小学校（二次避難所移送訓練）

訓練想定：川崎市直下を震源とするマグニチュード7.3の地震（最大震度7）

⇒今年度の二次避難所立上げ訓練実施施設は金井原苑に依頼済み

昨年度の多摩区での総合防災訓練同様、E-Welfiss を活用しての物資移送訓練も併せて実施してもらえるとより実効性のある訓練になるので検討してもらいたい。

→麻生班の班長である佐藤（香）委員が音頭をとって企画を進め、委員会の中で報告。

⇒昨年同様、委員には当日の総合防災訓練の見学に来てもらいたい。

② 災害プロジェクト委員会・防災班長会議の取り組みについて

（1）研修について

運営基準第30条の2第1項で「感染症や非常災害」に備えてBCP（業務継続計画）の策定を義務付け、第2項で職員への周知・研修・訓練を実施し、第3項で定期的な見直し変更が規定されており、令和6年3月31日までは努力義務だったが、令和6年4月1日から完全義務化になったことから、BCPに基づく研修・訓練に係る研修を実施するのはどうか。また、区ごとに分かれての演習形式の研修も含めるのはどうか。

⇒近隣施設との情報交換も含めて相互支援の繋がりも強める方向性で企画してほしい。また、実施時期については10月頃、秋口開催であれば予定を組みやすい。

⇒講師をMS&AD インターリスク総研株式会社に依頼する予定。

（2）施設間連携及び情報共有について

昨年企画していた横浜市社協高齢福祉部会災害プロジェクト委員会との意見交換会に向けて、今年度の実施のため再度日程等調整していく。

③ 神奈川県社会福祉協議会老人福祉施設協議会災害対応部会について

○災害対応に関する部会

開催日：令和5年12月19日・令和6年2月26日・令和6年5月17日

協議事項：本部会の進め方、リーダーの選任について、災害対応に関する課題について、
各ブロックの取組状況について、研修会について

○BCPに関する研修〈令和6年6月27日（木） 県老協総会時研修〉

「高齢者施設における自然災害への対策－事業継続計画（BCP）の運用を考える－」

【講師】

株式会社 CoAct 代表取締役 渡嘉敷 唯之 氏

社会福祉法人同愛会 理事長 菊地 月香 氏

【内容】14時45分～17時

基調講演：全国的な動向やBCPの策定と運用

事例発表：発災時のBCPの活用実態、発災後に見えたBCPの課題

④ 各班の訓練の取り組み状況について

川崎：令和6年1月16日に恒春園を会場として第2回情報伝達物資移送訓練を実施。8施設が参加。第3回災害訓練として、4月11日に桜寿園を会場として開催。内容は情報伝達・物資移送訓練で、6施設が参加。E-Welfissの機能については、連絡機能はオンタイムで更新されてほしい、災害報告や地図などの機能を使いきれていないことが気になる等の意見が出された。物資移送訓練については、駐車場の誘導等、訓練でも被災施設の職員の負担が大きいように感じられたので、実際に発災しえ職員の人数も揃わない中ではさらに難しいように思われるという意見が出された。また、道路状況の共有においては、土地勘があったり道路状況に詳しくたりする職員と2名体制でないと難しい、道路状況の共有はスマホやタブレットからのログインが必要だと思い、物資移送訓練のためにスマホからも同時ログインしたという意見が出された。次回は7月に川崎ラシクルを会場に訓練を実施する予定。

幸：3月26日の午前中に物資移送訓練を兼ねて班会議を開催。物資をクロスハート幸・川崎に運ぶという訓練内容。能登半島地震を受けて、二次避難所のこと等を含めて近隣施設で協力した方が良さだろうということで、幸班の中ではLineを使ってやり取りしようということになり、次回の会議で確認がとれたら、グループLineを作って有事の際にはそこでやり取りするというような訓練内容も導入予定。一度区内全施設を回ったのだが、実際に物資を移送すると、こちらから入った方が良かったとか、このルートの方が行きやすいといった気づきがあった。水害に対する備えとして、送迎車をいかに守るかという

ところで、夢見ヶ崎公園駐車場、日吉分庁舎駐車場の発災時の利用について確認中。

中原：2月～5月については特に活動はなく、令和6年度の活動については早めに調整していく。

高津：今年に入ってから活動が行われていないが、情報伝達・物資移送訓練を実施する予定。

特に防災担当は施設長等、施設から離れることが難しい立場の方が多いので、それ以外の方に携わって もらおうと思っている。

宮前：特に活動はできていないが、6月に今年度1回目の班会議を開催する予定。

多摩：4月30日に水リレー訓練を実施。E-Welfissの習熟度を上げるために、出発や到着の情報を都度発信しながら、近隣施設に水ひと箱を届けるという内容。9施設が参加。門扉の有無や搬入口の数といった注意点をアンケート形式にまとめて共有する予定。

一方通行だったり、時間指定一方通行だったり、傾斜度が高い坂道だったり、施設周辺道路で気をつけた方が良いポイントがあるので、技術的に可能なら、発災時の道路寸断情報や迂回ルート等も含めてE-Welfissの地図に書き込みできると良いと感じた。次は7月に訓練を実施予定。

麻生：2月20日に訓練を予定していたが、コロナのクラスターが発生したため実施を断念。

令和6年度は、6月・10月・2月の3回の訓練を予定。直近だと6月の第3火曜日。

コロナ等の感染症のことも考えながら他施設に迷惑がかからない対応を考えながら、訓練内容を検討していく。

また、9月の総合防災訓練が金井原苑に決まったということで、自施設でやりたいという施設も多かったのだが、切り替えて金井原苑をどう応援していくかということについて検討していく。

◇今後の予定

第2回災害プロジェクト委員会・防災班長会議／7月1日（月）14時～

2 人材プロジェクト委員会

◇第1回人材プロジェクト委員会／5月15日（水）15時～16時50分

◀協議概要▶

① 介護保険制度の動向と人材の関係性について

社会福祉法人照陽会法人本部事務局長の広嶋真結子氏より国の動向と人材育成について説明。

② 福祉の仕事紹介動画「介護の仕事って？」について

今まで通りハローワーク川崎会場と北部会場（中原区以北の福祉パル等）の2会場をzoomでつなぐハイブリット方式。

講話① 『介護の仕事って？～人を支える喜び～』の動画

講話② 『福祉の現場からの声』協力施設の職員へのzoomを使用しての質疑応答。

5月17日に実施予定の『福祉の仕事』説明会について、講話①を和田委員（HW川崎）、講話②を岩壁副委員長が担当。『福祉の現場からの声』協力施設について確認。

③ 福祉の仕事紹介動画「介護の仕事って？」について

平山副委員長が作成したプレ動画をもとに原稿を作成し、事務局で動画を作成。動画を見て気になった点やパワーポイント資料の構成や文言、写真や家族・職員からの動画の収集方法、誰を話し手にするかについて協議。

⇒老人ホームの種類で、特養は完全な公的施設ではないという意見が出されたため文言の修正が必要。

→営利と非営利という仕分けの方が良い。

⇒2度の施設長会で呼びかけているので、色々な施設に協力してもらおうという意味でも、人材プロジェクト委員会に入っていない施設から集めるのはどうか。

→この写真はどことこの施設という形で割り振っても良い。

⇒職員や家族からのコメントは割り振るのが難しいので、委員会の中で割り当てるのはどうか。

→職員からのコメントは茶園委員が、家族からのコメントは岩壁副委員長が打診することに。

⇒動画で話してくれる委員はどうするか。AIにしてみるのも手かもしれない。

→相手に伝えることを考えると、人が説明した方が良い。

→伊藤委員と古敷谷委員の声で動画を作成することに。

④ 人材定着に関するアンケートについて

岩壁副委員長と小林委員長が相談しながらアンケートの素案を作成。5月16日にバックオフィス総研コンサルティング合同会社と話し合って設問を絞り、アンケート班で最終確認するという流れになる。目的は、人材定着の課題に向けて働き手と雇い手の期待値と満足度の乖離をなくすこと。

⑤ 川崎市総合研修センター研修アドバイザーについて

小林委員長が推薦されたが、和田委員より「自分の方で担当しても良い。」との提案があり、和田委員に担当してもらうこととなった。

⑥ 外国人技能実習制度の取り組みについて

外国人技能実習制度の取り組みについて株式会社イーメディエイトから話があったため、小林委員長と岩壁副委員長に打合せに入ってもらい、有益な情報であれば委員会でフィードバック。

⑦ その他

吉野委員より

協力医療機関について、川崎市内は井田病院と市立川崎病院しかないという話だったが、麻生総合が認定を取ったため協定を結ぶ予定。麻生区内の施設に情報共有することの同意も得た。

◇ハローワーク「福祉の仕事」説明会／5月17日（金）13時30分～14時30分

会 場：①ハローワーク川崎

②福祉パルなかはら

参加施設：2施設

（介護老人福祉施設みやうち、社会福祉法人寿楽園）

参 加 者：①説明会18名（就職相談会12名）

②説明会18名（就職相談会12名）

（1）川崎市社会福祉協議会（老人福祉施設協議会）について

福祉の仕事・資格の案内

（2）施設でのケアの実際

講師：人材プロジェクト委員会 和田施設長

（3）福祉の現場からの声

司会：人材プロジェクト委員会 岩壁施設長

◇今後の予定：

第2回人材プロジェクト委員会／7月17日（水）14時～

ハローワーク「福祉の仕事」説明会／7月19日（金）13時30分～

情報交換について

1 情報交換について

施設長会の際に、会員施設同士で情報交換、意見交換が出来る時間が限られており、平成 30 年度より施設長会と合わせて実施している。

老人福祉施設「協議会」という名のとおり、施設同士等で情報交換、意見交換が出来るテーマを設け、設定テーマに基づく 30 分程度（目安）の情報交換を実施します。

(1) 会員施設から情報交換のテーマを募集

〔情報交換のテーマ例：看取りの実施方法、加算の取得状況、職員の雇用形態 等〕

(2) 正副会長等会議において、会員施設から集約した情報交換テーマを確認し、施設長会での情報交換テーマを検討します。

(3) 施設長会の開催通知に、情報交換の設定テーマを記載し各施設へ連絡。

各施設には必要に応じて資料等をご用意いただきます。

2 令和 6 年度第 2 回施設長会の情報交換会のテーマについて

テーマ：経営政策研究ワーキングで協議した内容（人材育成）について

内 容：介護大学校、喀痰吸引研修等

3 令和 6 年度第 1 回施設長会の情報交換会のテーマについて

テ ィ マ：介護保険法の改正と報酬改定により示された国の方向性に特養はどう取り組む必要があるのか

内 容：病院と特養の連携、介護福祉士養成の取り組み

話題提供：社会福祉法人照陽会 特別養護老人ホームみんなと暮らす町 広嶋施設長

4 過去の情報交換会テーマ一覧

【令和 3 年度】

6 月 16 日	アフターコロナの施設運営について
8 月 25 日	新型コロナウイルス感染症への対応について
10 月 20 日	With コロナの施設運営について
12 月 15 日	科学的介護情報システム「LIFE」について
動画配信	介護職員処遇改善支援補助金について

【令和4年度】

6月15日	施設におけるコロナ対応について～第6波終了の今、第7波に備えて～
8月25日	新型コロナウイルス第7波における各施設の課題、問題点、各施設との連携方法
10月19日	I C T機器の導入について
12月21日	【中間報告】第3回神奈川県特養実態調査（川崎市版）について
2月15日	施設運営における補助金の有効活用について～大規模修繕・コロナ対策など～

【令和5年度】

4月19日	災害について（各区の防災班長・副長について）
6月21日	新型コロナウイルス5類移行に伴う対応の変化について
8月23日	派遣職員と人材紹介事業所について
10月18日	派遣職員と人材紹介事業所について～part2～
12月20日	容態急変等による救急対応や看取りの現状について
2月21日	人材確保・災害対策・感染対策・事業所契約・利用者トラブル等、各施設で今年度一番対応に苦慮した事例について

民間社会福祉施設従事者福利厚生費補助金

(参考) 令和 5 年度実績一覧

種別	施設部会・各協議会事業（研修関係）	民間社会福祉施設従事者福利厚生費補助金
施設部会	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉施設と地域のつながり方 ～川崎市内の実践事例から学ぶ～第 2 弾 ・インボイス制度セミナー 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員向け研修（対面開催・動画配信） テーマ：地域包括ケアに関連する研修会「地域でのつながり」 講 師：一般社団法人プラスケア 代表理事 西智弘 氏
保育	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の 5 類移行で福祉（保育）現場はどうなる？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員向け研修（対面開催） テーマ：絵本であそぶ 講 師：音の教室カリヨン ・職員向け研修（動画配信） テーマ：幼児教育としての保育環境づくり ～子どもが遊び込める玩具とは～ 虐待・ネグレクトはなぜ起きる？ 苦しむ家庭を救うには 等 <u>2.5 テーマを動画配信</u>
老人		<ul style="list-style-type: none"> ・職員向け研修（動画配信） テーマ：認知症及び認知症ケア、プライバシー権と介護現場における個人情報との関係、介護職のための病気と薬の基礎講座、利用者の人権と尊厳について、高齢者の転倒予防、ケア従事者のためのハラスメント構造の理解とその対処法 【介護技術動画】 鼻血が出たときの対応、窒息時の対応、嘔吐物の処理 等 <u>7.0 テーマを動画配信</u>
障害		<ul style="list-style-type: none"> ・職員向け研修（対面開催・動画配信） テーマ：災害に関する研修会 講 師：①社会福祉法人けやきの郷 内山智裕 氏 ②MS&ADインターリス্ক総研株式会社
児母	<ul style="list-style-type: none"> ・川崎の社会的養育を進めるネットワーク勉強会 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員向け研修（対面開催・動画配信） テーマ：「REAL VOICE」の上映会及びパネルディスカッション 登壇者：川崎市市長 福田紀彦 氏 白梅学園大学 名誉教授 長谷川俊雄 氏 川崎市ふれあい館 副館長 鈴木健 氏 川崎愛児園 施設長代理 富居啓之 氏 かわさき里親支援センターさくら 統括責任者 溝部聡子 氏 中部児童相談所 相談支援第 1 係長 松田真希 氏 ・若手職員向け職員交流会 内 容：レクリエーション、情報交換会、各施設紹介動画上映 等

川崎市社会福祉協議会 施設部会運営推進会議 設置要項

(目 的)

第1条 この要項は、施設部会として取り組むべき課題、社会福祉施設に求められる公益的な取り組みや社会情勢に沿った事業の展開、区社会福祉協議会（以下、区社協という）との関わりや各関係機関との役割の整理などの今後のあり方を検討することを目的に設置する「施設部会運営推進会議」（以下、推進会議という）について必要な事項を定める。

(主な検討事項)

第2条 推進会議では次に掲げる事項について、必要な検討を行う。

- (1) 施設部会として取り組むべきことについて
- (2) 施設部会事業の見直しについて
- (3) より身近な地域での連携・協働の場づくりについて
- (4) 施設と区社協との関係について
- (5) 施設部会と法人経営者部会との関係について
- (6) 会員資格の確認について
- (7) 会費、事業費について
- (8) 市内業界団体との役割整理について
- (9) その他目的達成のために必要な事項

(構 成)

第3条 推進会議委員は施設部会委員（4つの協議会の正副会長および救護施設会員）で構成する。

2 推進会議に議長1名及び副議長2名を置く。議長は施設部会の部会長とし、副議長は施設部会の副部会長とする。

3 副議長は、議長を補佐し、議長に事故あるときは、その職務を代理する。

(開催期間)

第4条 推進会議は令和6年5月31日から令和7年3月31日までとする。

ただし、必要に応じ延長することができる。

(運 営)

第5条 推進会議は議長が招集し、議事進行を行う。

(関係者の出席等)

第6条 議長は、必要に応じて、委員以外の関係者に対し、推進会議への出席を求めることができる。

(事務局)

第7条 事務局は川崎市社会福祉協議会福祉部施設事業推進課に置く。

(その他)

第8条 この要項に定めるもののほか、推進会議について必要な事項は、川崎市社会福祉協議会会長が別に定める。

附 則

この要項は令和6年5月31日から施行する。

検討事項	準備会 5月	第1回 7月	第2回 9月	第3回 11月	第4回 1月	第5回 2月
施設部会事業費・会員資格の確認について	↑					
施設部会事業の見直しについて		↑				
市内業界団体との役割整理について		↑				
施設と区社協との関係について			↑			
施設部会と法人経営者部会との関係について			↑			
より身近な地域での連携・協働の場づくりにについて				↑		
会費、事業費について					↑	
施設部会として取り組みべきことについて						↑
報告書作成						



「ふくしの出張講座」

（１）経過

社会福祉施設（法人）の「地域における公益的な取組」として、施設（法人）の持つ専門性やノウハウを活用し、施設部会（社会福祉施設）が講師可能なメニューを地域の方々へ提示し、出張講座を行う。

→ 令和３年度にパンフレット作成

→ 令和４年度からパンフレット配布

※全国的な動きとして

- ・ 令和２年 ともに生きる豊かな地域社会の実現に向けた共同宣言
～社協と社会福祉法人のさらなる連携・協働へ～
- ・ 令和３年 社協と社会福祉法人・福祉施設の連携・協働推進方策
(社会福祉法人全国社会福祉協議会)

（２）令和５年度の実施件数等 ※別紙参照

（３）令和６年度の依頼状況等

団体：下小田中小学校 ※中原区社協

対象：小学校４年生 ５クラス １５３名

内容：高齢者について、車椅子体験について

日時：７月４日（木）９時３０分～１２時

講師：老人福祉施設協議会（すみよし・せせらぎ）

令和5年度

「社会福祉施設と地域をつなぐ“ふくしの出張講座”」 報告書



川崎市は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

川崎市社会福祉協議会は
かわさきSDGsゴールドパートナーです

Kawasaki social welfare council 2022 Kawasaki social welfare council internal only

目次

- 1 「社会福祉施設と地域をつなぐ“ふくしの出張講座”」 とは
- 2 実施状況等
- 3 受講者の声
- 4 講師の声
- 5 今後に向けて



1 「社会福祉施設と地域をつなぐ“ふくしの出張講座”」とは

市内社会福祉施設（こども・高齢者・障がい者などの福祉施設）の豊富な知識や経験を持つ職員が、みなさんの地域に出張し、ご希望に応じた講座を無料で実施します。



社協と社会福祉法人・福祉施設の連携・協働推進方策

～包括的な支援体制の構築と「連携・協働の場」としての社協の役割発揮に向けて

令和3年6月 社会福祉法人全国社会福祉協議会 地域福祉推進委員会

地域福祉推進委員会
(市区町村社協、都道府県・指定都市社協)

ともに生きる豊かな地域社会の
実現に向けた共同宣言

令和2年7月31日

全国社会福祉法人
経営者協議会

地域社会を取り巻く環境変化と対応の必要性

- ① コロナ禍によるニーズの拡大・顕在化
- ② 地域生活課題の複雑化・複合化と社協の役割
- ③ 包括的な支援体制の構築に向けた連携・協働

連携・協働の目的

- ① 制度の縦割りを超えて包括的な支援を実現する
- ② 災害に強い地域づくり
- ③ 福祉教育、福祉人材の育成
- ④ 社協職員と社会福祉法人・福祉施設職員の学び合い

推進方策
①

市区町村域や日常生活圏域に
連携・協働の場をつくる

推進方策
②

地域生活課題の発見と
情報共有を進める

推進方策
③

地域生活課題の解決に向けた
具体的な事業・活動を実施する

アクション

- 市区町村域での社会福祉法人・福祉施設の連携・協働の場として、連絡会等を組織する。
- 地区社協や自治会・町内会、民生委員・児童委員等と社会福祉法人・福祉施設がつながり、より身近な地域での連携・協働を進める。
- 各参加法人が、日頃の事業・活動を通じて把握した地域生活課題や自分の組織だけでは対応できない課題を連絡会等で共有する。
- 出張相談窓口を設けたり、地区社協や自治会・町内会の集まり、サロン等の地域福祉活動の場、学校等に積極的にアウトリーチして地域生活課題の発見に努める。
- 連携・協働の場で共有された地域生活課題を踏まえ、地域のニーズに応じた具体的な事業・活動を実施する。
- 社会福祉法人・福祉施設が持つ専門性や経験、社協が持つ地域との幅広いネットワーク等、それぞれの強みを生かす。

2 実施状況等

R5実施件数 18件（R4 14件）

（依頼団体）

区社協	地区社協	区民児協	地区民児協	その他
2	6	1	3	6

（区 別）

川崎区	幸区	中原区	高津区	宮前区	多摩区	麻生区	その他
0	0	3	5	5	3	2	0

（実施分野）

保育	老人	障害	児童	救護等
2	9	8	3	0



実施テーマ（一部）

【保育】

- 子ども達との交流（保育園・小学校）
- 子育ての不安や悩みについて

【老人】

- 高齢者施設（高齢者疑似体験）について
- 高齢者との関わり方について、認知症について

【障害】

- 障がいのある方の地域での暮らし～“誰もが暮らしやすい街”の実現に向けてできること～
- 障害者について、障害者施設について

【児童】

- 子育ての不安や悩みについて
- 児童養護施設・児童心理治療施設の取組み 等



当日の様子



当日の様子 (R6-4月号)

あなたの「やってみたい」を応援する広報誌

川崎の社会福祉

No.604
2024.4
SPRING

一緒に見つけよう、
あなたにできること

誰もが変える・支えられる地域共生社会を目指して

川崎市社会福祉協議会(通称・川崎市社協)

For a Smile

子育てもひと段落！
今度は地域の親子の
ために何か
できないかしら
まちの人

はじめての育児で
不安いっぱい
相談できる
先輩ママと
つながりたい
乳幼児の
ママ/パパ

中野島地区社協
「子育て」の悩みを
地域がフォロー！ **子育ておしゃべり会**

子育てママの力になりたい。そんな想いを抱いた多摩区・中野島地区社協のメンバーが、保護者と地域がつながるきっかけづくりを創出！乳幼児支援の専門家や近所のママ同士が気軽に交流できる「おしゃべり会」を実施しました。

中野島地区社協
田村さん

地区としてはじめての試みだった今回のイベント。いざという時に頼れる場所があるとママたちに思ってもらえるよう、これからも活動を続けていきます！

保護者の中には、悩みを打ち明けることへ気後れを感じる人もいます。身近にこのようなサポートがあれば、たくさんの親子が救われるはず。私たち専門職も協力を惜しみません！

中明けることあります。身の場があればるはず！

左からかわさきまから児童家庭センター 金子臨床心理士/中野島のはら保育園 住吉園長

会場からは「勇気を出して参加してよかった」との声も

3 受講者の声

- 今回の講座が参考になったのはもちろん、お話していただいた施設が自分の地域にあることを知らなかった。今度見学してみたいです。
- コロナ禍で研修会自体が久しぶりだったのですが、今後の地域活動を再開するための貴重なお話を聞けました。
- 専門的なテーマについて、その分野の施設の方にお話いただけて良かったです。気軽に質問や相談が出来る関係性が出来るともっと良いと思いました。身近な地域の施設と繋いでいただけてありがとうございました。
- 近隣の施設にお話いただけたことによって、子ども達にとってもより身近に感じる事が出来たと思います。今後何かあった時には、相談してみようと思います。



3 受講者の声

- *体験ベースの話で、実際の支援活動内容が良くわかった。
- *経験豊富なお話が聞けて良かった。話が上手で引き込まれた
- *障害の重い人の支援の実態がよくわかり、その取り組みに感心した。
- *江良センター長は、地域の人々のことをすごく考えて活動していて、素晴らしいと感心した。
- *地域の方を巻き込んで協力して活動するのが上手で良いと思った。
- *人と人とのコミュニケーション、信頼関係がいかに大切かを再度確認した。
- *地域の課題を丁寧に解決、実践されているところや、結果をすぐに求めずに長い目で見ているところに感銘を受けた。
- *センター長の経歴、人脈、誰にでも慕われる人柄、全てが素晴らしく感動した。
- *長年にわたるセンター長の努力により現状があると知った。熱意と志の高さを強く感じた。
- *地域の子供たちや方々に対する思いやりのある話に感動した。
- *福祉の大切さがわかった。自分の進むべき道がおぼろげにえてきた。出来る事から始めて人とのつながりを作りつけていきます。
- *福祉のデパート
- *施設を困っている子供たちの居場所としても提供していることを知った。
- *本当に困っている人を見ている所だと思った。思いやりのある話に感動した。
- *貧困家庭のことが分かった
- *川崎の北部と南部のように地域によってニーズの違いがあると思うが、助けを必要としている方への細かい心の寄せ方は学びたいと思った。
- *行政の各組織のつながりがあってこそであるが、多摩区でもこのような展開ができるようになるか不安になる。
- *障害者施設が麻生区にできれば見学に行きたい。
- *レジュメにはもっと深い話がたくさん書いてあったが、センター長が焦ってはなしたので話があちこちだった。少し時間が足りなかった。
- *施設は清潔で広々としていて良かった。いろいろな場所を見学できて良かった。
- *スタッフ同志の声掛けも、地域の施設への声掛けもきっと優しいのだろうと思う。
- *直ぐに役に立つかというところやうらやましかった。
- *自分の無力さを感じていたが、民生委員は「地域の一般市民としての視線で」との言葉で少しほっとした。



4 講師の声

- 身近な地域の方にお話をする機会がここ何年かは激減しておりましたので、貴重な機会になりました。
- これまでは施設内の地域交流スペースで地域の方やボランティアの方が会議等をやっていただいていたが、コロナ禍で出来なくなってしまい、地域の方の声を直接聞くことがなかった。
今回の講座で久しぶりにお話をすることが出来て良かったです。
- 昔からある施設ではないので、町会や民生委員児童委員の方とのつながりがあまりなかった。今回の講座をきっかけに地域で繋がっていきたいと思います。貴重な機会をありがとうございました。

4 講師の声

- このような機会をいただくことによって、施設側も職員の研鑽を積む場になる。特にコロナ禍で地域の方やご家族が施設内に入っておりませんでしたので、今後も続けていきたいと思います。
- 地区社協の皆様が、様々な角度から現状を知り、その上で、どのような活動（支援）ができるのか探ろうとされているその勤勉さと熱心さに感動し、そして、このような方々のお陰で、その地域が支えられているのだらうと実感いたしました。
また、地域の声を大切にしながら、関係機関とその地域をつなげていただいている施設部会や社会福祉協議会の皆様のおかげだと深く感謝しております。

5 今後に向けて

- 今年度は1つの依頼に対して、複数施設で協力していただくことがあった。
1施設で対応する場合には、対応する職員の人数も日数も増えてしまうが、複数施設で対応することで1施設の負担を軽減することができる。
また、その場を通じて、施設同士のつながりにもなった。
- これまでは地域で活動している民生委員児童委員の方や地区社会福祉協議会の方に向けてお話することが多かったが、今年度は初めて地区社会福祉協議会の方と一緒に事業を企画・実施した。
社協が持つ地域との幅広いネットワーク、社会福祉施設が持つ専門性や経験等、それぞれの強みを生かすことができた。



みんなで支え合い ともに安心して その人らしく暮らせる 川崎のまちづくり ～目指せ 地域包括ケアシステムの構築・推進～

川崎市社会福祉協議会LINEアカウント 友だち募集中!!



イベントのお知らせやボランティア・災害に関する情報など
市民の皆さまに役立つ情報をお届けします。



川崎市社協オリジナルキャラクター 「ななふく」LINEスタンプも好評販売中

スタンプを買って地域貢献!
売上は川崎市の地域福祉推進に役立させていただきます。



つながる募金

QRコードを読み取って、シンプル操作でカンタン寄付!
いただいた寄付金は、ボランティア活動・コロナ禍の食糧支援・災害支援など、地域を支えるさまざまな取組に活用されます。



つながる募金



スマホやパソコンからも
気軽に寄付



川崎市社協「施設部会」 ホームページはじめました！



2024年6月1日
からパスワードが
変わります！

URL <https://csw-kawasaki.or.jp/shisetsu/>
貴施設パスワード

会員施設・そしてその施設で 働いている職員のみなさん！



「施設部会」のホームページはご存知でしょうか？

会員施設限定の研修動画や各種情報等にアクセスできます！

①

研修動画

施設部会や各協議会の研修動画を視聴できます！

②

資料ダウンロード

メールで送付していた開催通知や資料をダウンロードできます！

③

各種情報

国や川崎市からの情報、寄贈物品等のお知らせも確認できます！



令和 6 年度 神奈川県社会福祉施設協議会施設部会老人福祉施設協議会
第 1 回委員会

日 時：令和 6 年 5 月 2 1 日（火） 1 4 時～1 5 時 5 0 分
会 場：神奈川県社会福祉センター 4 階 4 0 1 ・ 4 0 2 会議室

挨拶：西山会長

議事進行：西山会長

■議題

- 1 令和 5 年度事業報告並びに収支決算（案）について ※省略
→ 県社協より資料に基づき説明 ⇒ 総会に諮ることを承認
- 2 令和 6 年度補正予算（案）について ※省略
→ 県社協より資料に基づき説明 ⇒ 総会に諮ることを承認
- 3 かながわ高齢者福祉研究大会事業の見直しについて
→ 県社協より別紙資料に基づき説明
企画案が総会で承認されたら、第 1 回実行委員会を 7 月下旬～8 月上旬頃に開催する。
あり方検討会のメンバー（各ブロックから 3 名選出）のうち 2 名は実行委員に残って
もらい、県域 5 名、横浜 5 名、川崎 4 名、相模原 4 名の計 1 8 名になるように、
各ブロックから実行委員を選出してもらう
※川崎は平山施設長に実行委員として残ってもらい、3 名の実行委員を新たに選出
- 4 高齢者福祉施設 PR 委員会（仮称）の設置について
→ 県社協より別紙資料に基づき説明
各ブロックのイベント開催状況を確認させてもらい、県域で情報共有する
第 1 回の委員会を 7 月、8 月頃に開催する予定
- 5 課題別部会について
→ 県社協より別紙資料に基づき説明
- 6 総会・研修会について
→ 県社協より別紙資料に基づき説明
6 月 2 7 日の総会と同時開催の BCP に関する研修に関して、事前参考申込みの際に
質問を募る
- 7 その他
【今後の予定】
6 月 2 7 日（木）：第 1 回総会・研修会
9 月中旬頃：第 2 回委員会

◇大会テーマについて

～2040 年問題とこれからの魅力的な福祉・介護の未来を考える～

2040 年問題とは、高齢化と人口減少が進行する中で予想される一連の社会的・経済的問題を指します。2040 年頃に団塊ジュニア世代層（1971 年から 1974 年生）が 65 歳を超え、全人口に占める 65 歳以上の高齢者の割合が約 35%に達すると予測されています。この状況下では、現在の医療、介護、年金などの社会保障制度の持続性に対する疑念が指摘されていることから 2040 年問題と名付けられました。

同時に少子化の勢いも止まらず、出生率は 2022 年には 1.26 と 2005 年と並んで過去最低を記録し、出生数も初めて 80 万人を下回る 77 万人となりました。2040 年頃には現役世代に対する年金受給者の比率が高まっていると想定され、現役世代の負担が増大すると予測されています。また、医療や介護の需要増加に対して、人員や財源の不足が深刻化することも見込まれています。厚生労働省によれば、社会保障給付費は 2040 年には 190 兆円に達し、2023 年度の 134 兆円（予算ベース）と比較して約 1.4 倍に増加する見通しです。さらに、労働力の不足、生産性の低下、地方の過疎化、世代間格差の拡大など、多岐にわたる問題が懸念されています。

この問題に対処するためには、社会保障制度の改革や少子化対策、女性や高齢者の活躍など、多角的な視点からの取り組みが急務となっています。また個々人も自助努力を重視した生活設計が重要となるでしょう。

◇2040 年 高齢化と人口減少が進行する社会

◇2040 年 人員や財源の不足が深刻化する社会

◇2040 年 労働力の不足、生産性の低下など多岐にわたる問題が懸念される社会

2040 年は、上記のような社会となることが予測され、それは、現在 2024 年から、そう遠い未来ではありません。これらの問題に私たちは、どのように対応し、これからの福祉・介護の未来を描いたら良いのでしょうか？これに正面から向き合い、考えることが新しい大会のテーマです。

◇発表テーマと募集発表数について

大会テーマ（投げかけ）に対して発表テーマ（ジャンル）は特に問いません。それぞれの施設・事業所でこのテーマに向き合い、考えられることを考察・研究しエントリーしてください。

発表テーマ（ジャンル）は特に問いませんが、考えられる分野としては、次のようなことが考えられます。

(発表テーマ例)

- ◇2040 年問題に対して、生産性向上を図るために、どのような取り組みが考えられるか。
- ◇人材不足が予測される中で、I C T 化を図り効率的に運営し、適材適所に職員を配置する。
- ◇処遇改善の一本化を図り、さらに施設全体での処遇改善に繋げ、やりがいが増した。
- ◇今までのかかりつけ医との関係を発展させ、医療との連携がさらに充実し安心感が増した。

募集発表数は概ね県全体で 32 題～40 題を募集します。各ブロック（県および 3 政令市）からの推薦により、エントリーを受け付けます。詳細は各ブロック事務局にお問合わせください。

施設単独ではなく大学や関係者とのコラボエントリーも可とします。

◇介護技術発表について

介護技術発表についても、大会テーマ（投げかけ）を受けての技術発表となります。2040 年の状況を考察した上で、次のテーマに対して、いかに介護技術の向上及び発揮をしていくかを考え発題してください。

(発表テーマ例)

- ◇食事・口腔ケアについて
- ◇移乗について
- ◇認知症対応について
- ◇災害時の避難誘導

◇審査及び発表内容の発信等について

そのテーマにつながる関係性の深いかつ専門的知識を有する方を審査員とします。審査後は、なぜその発表が優れているか等、講評（コメント）により次なるエントリーにつながる情報発信を行います。また、大会当日の会場での発表に加え、オンラインでの視聴を可能とする仕組みにするとともに、大会後は、その発表がアーカイブ化され、貴重な提言として蓄積され、さらに、これからの未来の職員の参考となります。

参加費は。会場参加 8 千円、オンライン視聴 4 千円で検討しています。

◇会場について

パシフィコ横浜を会場とします。

会場での来場者は 600 名、オンライン視聴者数は 100 名を見込んでいます。

◇開催時期について

令和 7 年 7 月 2 日（水）を予定しています。

多くのみなさんの考察・研究への挑戦を期待しています！

高齢者福祉施設 PR 委員会（仮称）の設置について（案）

◇経 緯

かながわ高齢者福祉研究大会は、これまでの経過の中で研究発表に加え、介護技術発表の開催や就職相談会のブースの設置、施設紹介ブースの設置など、職員の質の向上及び情報共有を目指す当初の目的にプラスして人材確保や一般市民への理解・普及などの目標を持って運営してきました。

しかしながら、今後のあり方検討会では、目的の違う複数の要素を包含して大会を運営するより、それぞれの目的をはっきりさせて、分けて検討、企画を行っていく方が良いとの意見が多くだされ、①かながわ高齢者福祉研究大会実行委員会と②一般向け（PR）の大会検討チームの 2 つに分けて検討していくこととなりました。

◇検討組織の名称について

これまでの各委員の意見等を踏まえ、「高齢者福祉施設 PR 委員会（仮称）」としました。

◇メンバー

神奈川県 森 弘 樹（ヒューマン施設長）
横浜市 牧 野 裕 子（第 2 新横浜パークサイドホーム施設長）
川崎市 白 井 裕 一（特別養護老人ホーム富士見プラザ施設長）
相模原市 大久保 祐 次（社会福祉法人蒼生会 特別養護老人ホームモモ理事長）
＋各ブロック事務局

◇検討の方向性について

- ・一般（就職希望者を含む）向けに高齢者福祉施設の魅力や入居までの実際の手続きや期間、プロとして働く介護職員の日常などを積極的に PR していく機会をどう作っていけるかを検討する委員会となる。
- ・開催規模は県全体というよりは、ブロック毎あるいはもう少し狭い範囲（県の場合、9 ブロック、政令市の場合は各区など）での開催とし、運営は各ブロック事務局にお任せする。
- ・県老協はその運営の後方支援的な役割で、かながわ高齢者福祉研究大会での優秀発表の調整などを担うこととする。
- ・県老協ホームページ等により PR 活動の工夫を図ることとする。

課題別部会について

◇担当副会長及び委員の変更確認について

- ①施設運営 阿部副会長 川瀬リーダー
- ②人材確保等 清水副会長 小林リーダー
- ③災害対応 前田副会長 碓井リーダー

◇令和5年度の開催状況と令和6年度の予定について

〈令和5年度〉

- ①施設運営 令和5年12月18日開催
- ②人材確保等 令和5年12月7日開催
令和6年3月2日学生向け福祉のしごと就活スタート業界研究会協力
(小林リーダーの施設職員が参加)
- ③災害対応 令和5年12月19日、令和6年2月26日開催

〈令和6年度〉

- ①施設運営 今後、調整予定
- ②人材確保等 令和6年4月11日学生向け福祉のしごと就活応援フォーラム協力
(特別養護老人ホーム峰の郷、特別養護老人ホーム泉の郷の職員が参加)
- ③災害対応 令和6年5月17日開催(オンライン)

◇災害対応部会 研修会について

今年度前半で BCP に関する研修を開催。(4月23日の正副会長会議で総会時研修とすることに)
今年度後半で能登半島地震の被災地での状況等を踏まえた研修または BCP の中でも「感染症」に関する研修、BCP のシミュレーション研修等を開催予定

BCP に関する研修〈令和6年6月27日 総会時研修〉

「高齢者施設における自然災害への対策—事業継続計画(BCP)の運用を考える—」

【講師】

株式会社 CoAct 代表取締役 渡嘉敷 唯之氏
社会福祉法人同愛会理事長 菊地 月香氏

【内容】14:45～17:00(全体で2時間15分)

基調講演「全国的な動向やBCPの策定と運用」(渡嘉敷氏)
事例発表「発災時のBCPの活用実態、発災後に見えたBCPの課題」(菊地氏)
セッション・まとめ(渡嘉敷氏・菊地氏)

令和6年度 第1回老人福祉施設協議会総会・研修会について

■日 時 令和6年6月27日（木）午後1時30分から午後5時まで

■会 場 神奈川県社会福祉センター4階 401・402・403 会議室

■タイムスケジュール

13 : 30 (60分)	《総会》 ■議題 <ol style="list-style-type: none">1 令和5年度事業報告並びに収支決算（案）について2 令和6年度補正予算（案）について3 かながわ高齢者福祉研究大会事業の見直しについて4 高齢者福祉施設PR委員会（仮称）の設置について5 課題別部会について
14 : 30 (15分)	《休憩》
14 : 45 (135分)	《研修会》 ■テーマ 高齢者施設における自然災害への対策－事業継続計画（BCP）の運用を考える－ ■プログラム <ol style="list-style-type: none">○基調講演「全国的な動向やBCPの策定と運用」 株式会社CoAct 代表取締役 渡嘉敷 唯之 氏○事例発表「発災時のBCPの活用実態、発災後に見えたBCPの課題」 社会福祉法人同愛会 理事長 菊地 月香 氏○セッション・まとめ
17 : 00	

第 2 2 回かながわ高齢者福祉研究大会の実行委員選出について

1 選出範囲

市社協会員施設（58施設）

2 選出方法

- ① 実行委員は半数ずつ2年交代
- ② 実行委員には県老施協委員を1名選出
- ③ 実行委員には施設長の選出が望ましい
- ④ 実行委員は施設単位で依頼（委員に異動があった場合には施設内後任者が継続）
- ⑤ 実行委員の半数程度は経験者を選出
- ⑥ 当日係員は実行委員にカウントしない
- ⑦ **実行委員は施設名五十音順に依頼（特別養護老人ホーム等の部分を除いた名称）**

※ただし、直近3大会で実行委員を選出した施設は除く

※①～⑥については、県社協からの選出依頼にあたっての選出方法

⑦については、平成30年度第3回施設長会にて承認して頂いた選出方法

（第20回大会）

多摩川の里	こむかい	すえなが	新緑の郷	富士見プラザ	菅の里	すみよし
県老施協 委員	第19回大会より継続				第20回大会より選出	



（第21回大会）

すえなが	菅の里	すみよし	大師の里	太陽の園
県老施協 委員	第20回大会より継続		第21回大会より選出	



（第22回大会）

すえなが	大師の里 or 太陽の園		
県老施協 委員	第21回大会 より継続	第22回大会 より選出	

※22回以降の大会を鑑み、21回大会経験者から1名、22回大会から新規の方を2名

No.	施設名 (特別養護老人ホーム除く)	備考 (直近実行委員)	備考 (過去実行委員参加一覧)
1	あさおの丘	16・17	16・17
2	生田広場	17・18	17・18
3	生田まほろば	15・16	15・16
4	いせうら		
5	ヴィラージュ川崎	15・16	15・16
6	ヴィラージュ中原		
7	ヴィラージュ虹ヶ丘	17・18	17・18
8	桜寿園	15・16	2・9・10・15・16
9	おだかの郷	15・16	15・16
10	柿生アルナ園	16・17	16・17
11	片平長寿の里	19・20	14・15・19・20
12	金井原苑	18・19	7・8・9・10・11・12・13・14・18・19
13	蟹ヶ谷		
14	川崎市恵楽園	15・16	15・16
15	クロスハート幸・川崎	15・16	15・16
16	ケアハウスすえなが	17・18	17・18
17	恒春園	18・19	4・5・18・19
18	幸風苑	15・16	1・7・8・9・15・16
19	こむかい・南さいわい	19・20	14・15・19・20
20	境町フェニックス		
21	桜の丘		
22	潮見台みどりの丘	18・19	12・13・18・19
23	しおん	18・19	1・2・3・4・8・9・18・19
24	しゃんぐりら	18・19	13・14・18・19
25	しゅくがわら三清荘		
26	新緑の郷	19・20	19・20
27	すえなが	19・20	4・5・6・8・10・11・19・20・21
28	菅の里	20・21	13・14・20・21
29	すみよし	20・21	12・13・20・21
30	せせらぎ		
31	大師の里	21	11・12・21
32	太陽の園	21	2・21
33	高津山桜の森		
34	多摩川の里	19・20(県老施協委員)	7・8・9・11・12・16・17・19・20
35	等々力	17・18	7・8・9・17・18
36	虹の里		5・6
37	ビオラ川崎		11・12
38	陽だまりの園		2・3・8・10・11・12
39	ひらまの里		4・5・6
40	風光		9・10・11
41	富士見プラザ	19・20	6・7・13・14・19・20
42	プラチナ・ヴィラ野川	17・18	17・18
43	フレンド神木		9・10
44	まごころタウン*新百合ヶ丘		
45	みかど荘		1・2・3・10・11・12・15

46	みやうち		4・5
47	みんなと暮らす町		9・10
48	ゆとりあ		
49	夢見ヶ崎		1・2・3・6・7・13・14
50	養護すえなが		3
51	よみうりランド花ハウス		7
52	ラスール麻生		
53	ルピナス王禅寺		
54	レジデンシャル百合ヶ丘		
55	鷲ヶ峯		11・12
56	和楽館	17	14・15・17
57	わらく桃の丘		14（途中交代）

地域のみらいに向かって 舵を切れ社会福祉法人!

～災害からの創造的復興、これからの法人経営を考える～

第43回 全国社会福祉法人経営者大会 開催要項

01 主 旨

本年1月の能登半島地震は、石川県を中心する広域において、社会福祉法人・福祉施設にも甚大な被害を引き起こした。「災害により1法人もつぶさない」という強い意思のもと、能登の地域特性も踏まえた創造的復興を継続して支援するとともに、今後の災害に備えた全国的な体制整備に取り組む必要がある。

一方で、未曾有の物価高騰とともに、経済界の賃上げにより生じている各産業との賃金格差は、法人経営における喫緊の課題となっている。経営協組織一丸での要望活動により、介護・障害報酬のプラス改定や公定価格の引上げなど前進は勝ち取ったものの、全産業と遜色ない水準に向けては、拡充された処遇改善加算等の最大限の活用による実績を手し、さらなる働きかけを続けていかなければならない。

少子高齢・人口減少社会の進行、人びとの生活環境の変容のなかで、我われ社会福祉法人には、さまざまな社会資源との協働のもと、地域社会に寄り添った実践が求められている。

こうした状況を踏まえ、本大会は、私たち法人経営者が横浜・みなとみらいに結集し、社会福祉法人が支えるべき地域社会の未来に向かい、荒波にも負けず力強く舵を切って進んでいけるよう、そのために必要となる新たな事業展開や経営基盤の強化策について研究・協議することを目的に開催する。



02 主 催

全国社会福祉協議会・全国社会福祉法人経営者協議会
神奈川県社会福祉協議会・経営者部会

03 後 援

厚生労働省、神奈川県、横浜市（いずれも予定）

04 期 日

令和6年8月29日(木)・30日(金)

05 会 場

パシフィコ横浜（神奈川県横浜市西区みなとみらい 1-1-1）

06 定 員

1,500名

07 参 加 費

※大会1日目の昼食を含む

全国経営協	会員法人からの参加者	1名あたり 30,000 円
	非会員法人等からの参加者	1名あたり 40,000 円

08 懇親会費

1名あたり 15,000 円（自由参加）



みんなの「生きる」を
社会福祉法人

全国社会福祉法人経営者協議会

09 大会日程・プログラム(予定)

	9:30	10:30	11:05	11:45	12:30	13:30	17:30	18:30	20:30
8月29日(木)	受付	開会式	基調報告	特別講演	昼食 移動	分科会		懇親会	
8月30日(金)	8:30 開場	9:00 パネルディスカッション	11:00 記念講演	12:00 大会宣言 次期開催挨拶	12:20 閉会				

1日目 8月29日(木)

9:30 ～ 10:30	受 付	会場：パシフィコ横浜「国立大ホール」										
10:30 ～ 11:05	開会式	<p>●開会のことば 神奈川県社会福祉協議会・経営者部会 … 部会長 小泉隆一郎</p> <p>●主催者挨拶 全国社会福祉法人経営者協議会 …… 会長 磯 彰格 全国社会福祉協議会 …… 会長 村木 厚子 神奈川県社会福祉協議会 …… 会長 篠原 正治</p> <p>●来賓挨拶 厚生労働大臣 …… 武見 敬三 氏 神奈川県知事 …… 黒岩 祐治 氏 横浜市長 …… 山中 竹春 氏</p>										
11:05 ～ 11:45	基調報告	<p>「社会福祉法人をめぐる動向と全国経営協の取り組み」</p> <p>全国社会福祉法人経営者協議会 …… 会長 磯 彰格</p>										
11:45 ～ 12:30	特別講演	<p>「災害と福祉・コミュニティ」（仮題）</p> <p>大阪公立大学大学院 …… 准教授 菅野 拓 氏</p>										
12:30 ～ 13:30	移動 昼食・休憩	<p>各分科会場へのご移動</p> <p>※会場は、参加申込受理後に発行する参加券等でご案内いたします。</p>										
13:30 ～ 17:30	分科会	<table><tr><td>第 1 分科会</td><td>サービスの質向上と人材確保 ～人材採用・定着・育成～</td></tr><tr><td>第 2 分科会</td><td>福祉を守り抜く経営実践【事例報告】～多角化・多機能化、経営強化～</td></tr><tr><td>第 3 分科会</td><td>つながりを活かした課題解決～社会福祉連携推進法人と協働による公益的取組～</td></tr><tr><td>第 4 分科会</td><td>未来に向けた事業展開を考える～大規模化・合併・事業譲渡等を問う～</td></tr><tr><td>第 5 分科会</td><td>次世代の社会福祉の在り方を考える（全国青年会企画）</td></tr></table> <p>※テーマはいずれも仮題 ※詳細は別途、全国経営協のホームページ等でご案内いたします。</p>	第 1 分科会	サービスの質向上と人材確保 ～人材採用・定着・育成～	第 2 分科会	福祉を守り抜く経営実践【事例報告】～多角化・多機能化、経営強化～	第 3 分科会	つながりを活かした課題解決～社会福祉連携推進法人と協働による公益的取組～	第 4 分科会	未来に向けた事業展開を考える～大規模化・合併・事業譲渡等を問う～	第 5 分科会	次世代の社会福祉の在り方を考える（全国青年会企画）
第 1 分科会	サービスの質向上と人材確保 ～人材採用・定着・育成～											
第 2 分科会	福祉を守り抜く経営実践【事例報告】～多角化・多機能化、経営強化～											
第 3 分科会	つながりを活かした課題解決～社会福祉連携推進法人と協働による公益的取組～											
第 4 分科会	未来に向けた事業展開を考える～大規模化・合併・事業譲渡等を問う～											
第 5 分科会	次世代の社会福祉の在り方を考える（全国青年会企画）											
17:30 ～ 18:30	移 動	<p>懇親会場へのご移動</p> <p>※無料シャトルバスを運行いたします。</p>										
18:30 ～ 20:30	懇親会	<p>会場：横浜ロイヤルパークホテル 宴会棟 3 階「鳳翔」</p> <p>（神奈川県横浜市西区みなとみらい 2-2-1-3）</p>										

2日目 8月30日(金)

8:30 ～ 9:00	開 場 ▼	会場：パシフィコ横浜「国立大ホール」
9:00 ～ 11:00	パネル ディスカッション ↓	<p>「変わらないために変わり続ける～これからの法人経営を考える」</p> <p>少子高齢・人口減少、物価高騰、人材確保難などさまざまな課題が立ち はだかるなかにあっても、ふるさとを支え、あるべき方向に舵を切って進ん でいくために、社会福祉法人には、具体的にどのような取組が考えられる のか。意見交換を通じて、今後の社会福祉法人のめざすべき姿を展望する。</p> <p>【登壇者】 社会福祉法人奥州いさわ会 …………… 理事長 藤田 春芳 氏 全国社会福祉法人経営者協議会 …………… 副会長 谷村 誠 早稲田大学人間科学学術院 …………… 教授 松原 由美 氏（コーディネーター） ※ほか登壇者調整中</p>
11:00 ～ 12:00	記念講演 ▼	<p>「真に優れたローカルブランドをめざす」（仮題）</p> <p>株式会社崎陽軒 …………… 代表取締役社長 野並 晃 氏</p>
12:00 ～ 12:10	大会宣言 ▼	全国社会福祉法人経営者協議会 副会長
12:10 ～ 12:20	次期 大会開催挨拶	全国社会福祉法人経営者協議会 九州ブロック協議会 …………… 会長 黒木 茂夫 氏

10 参加申込方法

同封の別冊「参加・宿泊等のご案内」を
ご参照のうえ、インターネットにて下記の
大会専用サイトからお申込みください。

<https://www.mwt-mice.com/events/2024keieikyo>



11 参加申込締切

令和6年7月31日(水)

※ただし、定員に達し次第締め切らせていただきます。

12 懇親会について

ご希望者のみの参加となります。

参加を希望される方は、参加申込とあわせてお申込
みください。

参加費：1名あたり 15,000円

13 参加費等のお支払い方法

インターネット申込を受けて発行される申込完了メー
ルにて振込案内を行いますので、銀行振込にてお支
払いください。

14 参加取り消しについて

大会専用サイトからお手続きください。

大会参加費については、8月22日(木)までに参加取
り消しのご連絡をいただいた方にはご返金いたします。
それ以後の場合には、参加費の返金はせず、資料送付
をもってかえさせていただきますので、あらかじめご了
承ください。

宿泊・懇親会等については、取消料の取扱いが異なり
ます。「参加・宿泊等のご案内」をご参照ください。

15 宿泊等の斡旋について

宿泊等の手配について、参加申込にあわせてお申込みいただくことが可能です。

別添「参加・宿泊等のご案内」をご参照のうえ、名鉄観光サービス株式会社 MICE センター「第43回全国社会福祉法人経営者大会」係宛にお申込みください。

16 個人情報の取扱いについて

本大会の参加者にかかる個人情報は、本会「個人情報の保護に関する方針（プライバシーポリシー）」に基づき適切に取り扱うこととしており、他の目的で使用することはありません。なお、本会プライバシーポリシーはホームページに掲載しています。

<https://www.keieikyo.com/privacy/index.html>

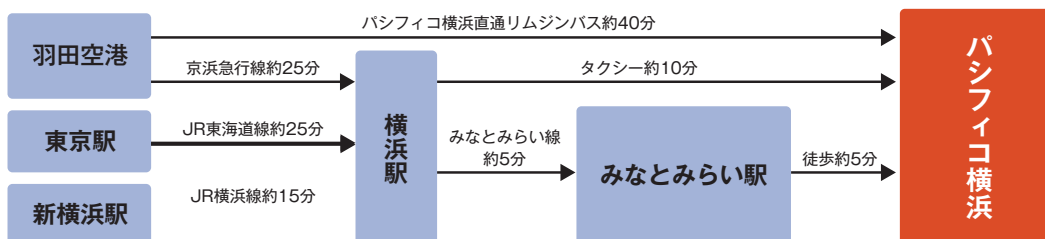
(1) 本大会にかかる参加申込の受付および宿泊手配につきましては、名鉄観光サービス株式会社と個人情報の適正な取扱いについて契約を交わしたうえで同社に業務を委託しております。

(2) 参加申込において大会専用サイトに登録された都道府県、法人名、役職、参加者氏名については、当日配付資料の名簿に掲載するとともに、参加案内・取りまとめ等のために連絡担当者氏名等とあわせて各都道府県経営協事務局とも共有いたします。



交通アクセス

※地図内に記載の時間は、各公共交通機関での所要時間を表しています。



お問合せ先 ※受付時間 平日 10:00 ~ 17:00 (土・日・祝日休業)

名鉄観光サービス株式会社
MICEセンター
 第43回全国社会福祉法人経営者大会係

〒100-0013
 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル
 TEL: 03-3595-1121 FAX: 03-3595-1119

社会福祉法人 全国社会福祉協議会

全国社会福祉法人経営者協議会

〒100-8980 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル
 TEL: 03-3581-7819 FAX: 03-3581-7928



令和6年6月配信 福祉職員向け研修のご案内

地域の明日をささえる
福祉の研修



社会福祉法人川崎市社会福祉協議会
総合研修センター

〒210-0024

川崎市川崎区日進町5-1

川崎市複合福祉センター ふくふく2階

TEL : 044-223-6509 FAX : 044-223-6598

開所時間

火曜日～土曜日 9:00～17:00 (受付8:30～)

※日曜日・月曜日・祝祭日・年末年始はお休みとなります



日	月	火	水	木	金	土
休	休	●	●	●	●	●

高齢者に多い疾患と薬の基礎知識

研修番号 A-10

日 時: 令和 6年 7月9日 (火) 13:30 ~ 16:30
定 員: 40名 (先着順)
受講料: 2,000円
内 容: <https://www.kensyu-c.jp/gennin.php?id=166>



お申込み

講師 藤原 節子 氏

NPO法人在宅医療・緩和ケアカンファレンス 理事/薬剤師

第2回川崎市認知症介護基礎研修

集合研修だから味わえる! 講師との一体感・臨場感!

日 時: 令和 6年 7月12日 (金) 9:00 ~ 16:30
定 員: 50名
(定員を超える申込があった場合は抽選により決定いたします。)
受講料: 4,000円
内 容: <https://www.kensyu-c.jp/hotei02.php?id=188>



お申込み

講師 認知症介護指導者

「福祉・教育の現場での “性の問題”への向き合い方」

日 時: 令和 6年 7月17日 (水) 13:30 ~ 16:50 (200分)
定 員: 50名 (先着順)
受講料: 3,000円
内 容: <https://www.kensyu-c.jp/gennin.php?id=182>



研修番号 A-49



お申込み

講師 理事長 坂爪 真吾 氏
相談員 佐藤 久美子 氏
NPO法人風(ふう)テラス

生活困窮者自立支援制度と 生活保護制度の最新動向を学ぶ

日 時: 令和 6年 7月19日 (金) 13:30 ~ 16:30
定 員: 40名 (先着順)
受講料: 2,000円
内 容: <https://www.kensyu-c.jp/gennin.php?id=174>



研修番号 A-25



お申込み

講師 岡部 卓 氏
東京都立大学名誉教授
新潟医療福祉大学教授

レビー小体型認知症の 正しい理解

日 時: 令和 6年 8月2日 (金) 14:00 ~ 16:30
定 員: 40名 (先着順)
受講料: 2,000円
内 容: <https://www.kensyu-c.jp/gennin.php?id=179>



研修番号 A-11



お申込み

講師 繁田 雅弘 氏
メモリーケアクリニック湘南 医師

令和6年度 福祉職員向け研修

からだを正しく使った移動・移乗技術 ～本当に役立つボディメカニクス+動作介助～

日 時: 令和 6年 8月6日 (火) 10:00 ～ 16:00
定 員: 40名 (申込多数の場合は、抽選となります。)
受講料: 4,000円
内 容: <https://www.kensyu-c.jp/gennin.php?id=172>



講師 竹田 幸司 氏
田園調布学園大学 社会福祉学科
介護福祉専攻 准教授

研修番号 A-36



お申込み

身寄りのない利用者の 身元保証と後の手続き

日 時: 令和 6年 8月7日 (水) 13:30 ～ 16:30
定 員: 40名 (先着順)
受講料: 2,000円
内 容: <https://www.kensyu-c.jp/gennin.php?id=167>



講師 沢村 香苗 氏
株式会社日本総合研究所
創発戦略センター シニアスペシャリスト

研修番号 A-41



お申込み

仕事の教え方、指導力向上

「ティーチング、コーチングスキル向上研修」

日 時: 令和 6年 8月9日 (金) 10:00 ～ 16:00
定 員: 40名 (先着順:定員に達し次第、募集終了)
受講料: 5,000円
内 容: <https://www.kensyu-c.jp/gennin.php?id=177>

講師 中野 克彦 氏
リンク・イノベーション 代表

研修番号 A-31



お申込み

本人支援 と 家族支援

主訴とニーズ、相違点と一致点のとりえ方と見つけ方

日 時: 令和 6年 8月20日 (火) 13:30 ～ 16:00
定 員: 40名 (締切後定員を超えた場合は抽選)
受講料: 3,000円
内 容: <https://www.kensyu-c.jp/gennin.php?id=161>



講師 高室 成幸 氏
ケアタウン総合研究所 代表

研修番号 A-15



お申込み

「認知症のその人」を支える専門職のための研修

「認知症の方の施設介護計画 (ケアプラン)のポイントや策定方法」

日 時: 令和 6年 8月21日 (水) 9:00 ～ 12:00
定 員: 40名 (先着順)
受講料: 2,000円
内 容: <https://www.kensyu-c.jp/gennin.php?id=190>



講師 藤江 大 氏
メディカル・ケア・サービス(株)
愛の家グループホーム大田久が原
ホーム長・認知症介護指導者

研修番号 A-35



お申込み



044-223-6509

受付/8:30～17:00 開所/火曜～土曜
(祝日を除く)

研修に関する詳しい情報は365内容にアクセスまたは電話にてお問合せください。

「認知症のその人」を支える専門職のための研修 「すべての言動には、意味がある！」

食事・入浴・排泄の拒否、帰宅願望等への対応と留意点

日時：令和 6年 8月21日 (水) 13:30 ~ 16:30

定員：40名 (先着順)

受講料：2,000円

内容：<https://www.kensyu-c.jp/genhin.php?id=190>



講師 山本 忠弘 氏

医療法人社団 三喜会グループホーム青葉台
施設長・認知症介護指導者

研修番号 A-34



お申込み

摂食嚥下障害のある方へのケア

～介護スタッフのための安心！「食のケア」～

日時：令和 6年 8月22日 (木) 13:30 ~ 16:30

定員：40名 (先着順)

受講料：2,000円

内容：<https://www.kensyu-c.jp/gennin.php?id=169>



講師 篠原 弓月 氏

日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士・評議員
口腔栄養サポートチーム レインボー代表 訪問歯科衛生士

研修番号 A-40



お申込み

自閉傾向にある児童への適切な支援と 教育・福祉の連携

日時：令和 6年 8月27日 (火) 14:00 ~ 16:00

定員：40名 (先着順)

受講料：2,000円

内容：<https://www.kensyu-c.jp/gennin.php?id=191>



講師 星野 亜希子 氏
国立のぞみの園

研修番号 A-05



お申込み

介護報酬改定を受けた 人材定着に向けた施策

日時：令和 6年 8月28日 (水) 14:00 ~ 16:30

定員：40名 (先着順)

受講料：2,000円

内容：<https://www.kensyu-c.jp/gennin.php?id=51>



講師 結城 康博 氏

淑徳大学 教授 (総合福祉学部 社会福祉学科)

研修番号 A-14



お申込み

尊厳を守る 排泄ケアの基礎知識

～気持ちよく出す！おまかせうんチッチ～

日時：令和 6年 8月29日 (木) 13:30 ~ 16:30

定員：60名 (先着順)

受講料：3,000円

内容：<https://www.kensyu-c.jp/gennin.php?id=168>



講師 榊原 千秋 氏

うんこ文化センターおまかせうんチッチ代表
一般社団法人日本うんこ文化学会代表理事

研修番号 A-37



お申込み



044-223-6509

受付/8:30～17:00 開所/火曜～土曜
(祝日を除く)

研修に関する詳しい情報は内容にアクセスまたは電話にてお問合せください。

グレーゾーンの 不適切ケアが 虐待となるまで

日 時: 令和 6年 9月3日 (火) 13:30 ~ 16:30
定 員: 40名 (先着順)
受講料: 2,000円
内 容: <https://www.kensyu-c.jp/gennin.php?id=52>



講師 野澤 和弘 氏
植草学園大学 副学長

研修番号 A-18



お申込み

対人援助職のためのアンガーマネジメント ～怒りと精神疲労への向き合い方～

日 時: 令和 6年 9月4日 (水) 13:30 ~ 16:30
定 員: 40名 (定員を超えた場合は抽選)
受講料: 2,000円
内 容: <https://www.kensyu-c.jp/gennin.php?id=180>



講師 江口 智子 氏
ナースナレッジ 代表

研修番号 A-23



お申込み

メンタルヘルス不調を抱えた 職員への対応

日 時: 令和 6年 9月5日 (木) 14:00 ~ 16:30
定 員: 40名 (先着順)
受講料: 2,000円
内 容: <https://www.kensyu-c.jp/gennin.php?id=186>



講師 今井 鉄平氏
OHサポート株式会社
代表 産業医



講師 服巻 雅子氏
OHサポート株式会社
保健師

研修番号 A-24



お申込み

危険予知トレーニング (KYT) で 危険に対する感性を高めよう

日 時: 令和 6年 9月6日 (金) 13:30 ~ 16:30
定 員: 40名 (先着順)
受講料: 2,000円
内 容: <https://www.kensyu-c.jp/gennin.php?id=192>



講師 向 祥 氏
SOMPOケア株式会社 人材開発部
教育企画サービス課 シニアリーダー

研修番号 A-22



お申込み

レク企画応援研修 認知症の方も一緒に楽しむ レクリエーション

日 時: 令和 6年 9月18日 (水) 13:30 ~ 16:30
定 員: 30名 (先着順)
受講料: 2,000円
内 容: <https://www.kensyu-c.jp/gennin.php?id=183>



講師 尾渡 順子 氏
医療法人中村会 介護老人保健施設あさひな
(認知症介護レクリエーション 実践研究会)

研修番号 A-32



お申込み



044-223-6509

受付 / 8:30 ~ 17:00 開所 / 火曜～土曜
(祝日を除く)

研修に関する詳しい情報は内容にアクセスまたは電話にてお問合せください。

総合研修センター アクセス

